

慶祝

おめでとうございませ
心より祝福いたします

(28年後期・敬称略)

◎全国民生委員児童委員連合会
会長表彰(永年勤続)

佐々木 洋吉(楢山共和町)
佐々木 正次(楢山城南町)

◎秋田県社会福祉大会・
県知事表彰

川井 精一(楢山本町)
妹尾 弘(楢山本町)

◎秋田市の記念日・市長表彰

鈴木 夏代(楢山寺小路)

◎秋田市社会福祉大会・
市社協会長表彰

澤井 恵理子(南通築地)
佐藤 翠(南通みその町)
佐藤 祐子(楢山金照町)
佐藤 義孝(楢山愛宕下)
佐藤美智子(南通宮田)

◎秋田市民生児童委員協議会・
会長表彰

岡田 弘子(南通みその町)

地区くの一篤志

〇し香典返し

2万円(亡父) 武田 宏さん
楢山本町 武田 睦子様
〇し芳志
2万円 加藤 俊悦様
楢山南中町 加藤 俊悦様
1万5千円 高桑 博様
南通みその町

会務報告

平成28年9月〜平成29年2月

9月1日 築山社協だより第50号を
発行し、民生委員、町内会長を介して
全世帯に配布
9月9日 敬老会該当者全員に町内
会長の手を借り、商品券の配布を開始
9月13日 秋田市共同募金(赤い羽
根)運動の研修会・説明会に会長と鈴
木副会長が出席
9月19日 社協役員、民生委員の手
を借り地区敬老会の準備
9月20日 恒例の地区敬老会式典及
び、祝賀会をコミセンで開催
9月28日 市社協会費(百十万7千
円)を市社協へ納入
10月1日 赤い羽根共同募金運動推
進
10月13日 市社協役員会評議委員会
に会長、佐々木副会長が出席
10月18日 グラウンドゴルフ大会を
大平山グラウンドゴルフ場で開催
10月28日 築山社協設立60周年記念
式典・祝賀会を第一会館で開催
11月10日 文化会館で開催された市

社会福祉大会へ参加

11月12日 軽スポーツ大会を楢山口
ミセンで開催
11月12日 地区内の老人クラブ、福
祉関係諸団体、子育て支援施設等に助
成金を贈呈
11月30日 市社協評議員会に会長が
出席

12月1日 地域歳末たすけあい運動
の推進
12月7日 市社協連絡会第2回研修
会に会長、佐々木副会長が出席
12月13日 秋田市七地区社協研修交
流会に会長及び、神田、佐々木、鈴木
各副会長が出席

12月26日 地区配分会を開催し、歳
末たすけあい募金運動の善意を地域内
の要援護世帯等に一律5千円を民生委
員を介して配布
地区の福祉施設に果物(りんご、み
かん)を贈呈(6面参照)

75歳以上の一人暮らし、80歳以上の
高齢者のみの世帯とねたきり老人にお
茶を持参して激励訪問を開始
1月19日 みどり保育園児を招き
「幼児と高齢者の集い」を楢山コミセ
ンで開催
1月22日 楢山コミセンでフロアカ
ーリングを開催
2月10日 市社協事務研修会に会長
と京屋理事が出席
2月10日 地域福祉活動合同研修会
へ会長、役員多数が出席
2月23日 市社協Bブロック研修会
に会長、三副会長が出席

◆編集後記◆

社協定期総会の開催予告
平成29年度の築山社協定期総会
は次のとおり開催します。

日時 4月29日(土)午後2時
場所 楢山コミュニティセンター

当社協は、昨秋設立60周年を迎え、
記念式典・祝賀パーティー。図らずも
編集子は会長感謝状を授与された。
翻って自己の業績を顧みる時、過分な
榮譽に与かったと恐縮した次第▼年
が明け、次なる70周年に向け、スタートも
切られた。社会福祉(social welfare)は、
通り一遍の職種であってはならない。
対処する相手の心に触れ合うことが大
切。人への思いやりの深さが心の輝き
として培われてゆく。社協役員は、民
生委員・児童委員協議会、町内会長連
絡協議会等、地区内関係団体との連携
の中で協議(consultance)を勧めたいも
のだ▼築山地区も少子高齢化社会が
年々伸張している。今後は決意を新た
に、社会福祉伸展のため、更なる進取
の企て(enterprise)を熟慮致したい。
(編集委員 北條 晃)

編集委員 北條 晃
加藤 俊悦
京屋 均
榎渡 久孝
連絡先(事務局) 榎渡 久孝

第51号

平成29年3月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字：茂林 憲子)

築山社協だより

当社協設立60周年記念式典



平成28年10月28日、築山地区社会福祉協議会設立60周年記念
式典を、第一会館本館(市内大町五丁目)において開催しまし
た。同日、永年にわたり地区社会福祉の向上に尽力された方々
14氏に、加藤俊悦会長から感謝状の贈呈・伝達がありました。
(2・3面に関連記事)



築山社協設立60周年に寄せて

築山地区社会福祉協議会
会長 加藤 俊悦

当地区社協は、昭和30年7月に
「設立趣意書」を作成し、翌年7
月1日に設立しました。昭和31年
は、「もはや戦後ではない」の文
言が『経済白書』に登場し、国連
加盟が実現した我が国の大きな転
換点に当たります。この激動の時
代に、設立の第一声を挙げた初代
小泉四郎会長を始め当時の社協役
員の方々には、本地区福祉活動の
難題の解決に向けて言い尽くせな
いご苦労があったと推察します。
地域住民との強固な協力体制を構
築し諸課題解決への道を拓いた役
員のご努力には、頭が下がる思い
でいっぱいです。

この地には、江戸時代の頃から
「楢山精神」が深く根付いてきた
そうです。「楢山精神」とは、「新
しいものや新しいことがらに理解
を示しながら、古いものや古いこ
とを決してあつさり捨て去ること
がない」という楢山地区住民の心の
働きや心の持ち方」と定義されて
いたようです。佐竹譜代の武士は
少なく下級武士や足軽が多かった
ため、生活は厳しさを極め、「質
素儉約・やせ我慢」の不屈魂がこ
の地に根を張ってきました。その
精神が、脈々と子孫に受け継がれ、

今日の「たすけあいの精神」の強
い風土を造りあげたようです。
現在、本地区は約3千6百世帯
を有し、68町内会が組織されてい
ます。当地区住民の方々には、「赤
い羽根共同募金運動」や「地域歳
末たすけあい運動」にも非常に積
極的・協力的であり、「人の心に
寄り添うネットワーク」の強い繋
がり形成されています。

ところで、築山民協が一昨年
10月に「全国優良民生委員児童委
員協議会」で全国表彰を受けまし
た。不断の活動が評価されたこと
が地区の大きな励みになります。
さて、記念式典では、これまで
に当地区福祉活動に甚大なご貢献
を賜りました14名の方々に「感謝
状」を贈呈いたしました。受けら
れた皆様のご功績に深く敬意を表
し、厚く御礼を申し上げます。

なお、高齢者率の高い当地区に
は、多くの福祉課題が山積してい
ます。この節目の機会に、改めて
社会福祉の在り方を深く洞察し、
一層実効性が高まる事業や活動を
推進してまいりたいと存じます。
今後とも有益なご助言やご鞭撻を
心からお願ひ申し上げます。

平成28年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	49,000	40,000	18,200	50,400	39	登町東部	18,500	45,000	7,150	19,800
2	JR宮田自治会北	10,000	24,000	8,000	8,000	40	登町中央部平和会	10,000	12,000	4,290	12,240
3	イーストハイム宮田	10,000	35,400	7,670	20,160	41	登町西部	25,000	31,000	6,500	18,000
4	築地北町	16,200	16,200	2,730	7,920	42	亀ノ丁栄町	7,500	11,000	2,500	5,400
5	築地東上町	15,500	17,600	3,770	10,440	43	餌刺町	21,000	34,000	10,000	28,800
6	築地窪町	15,000	16,800	2,340	6,480	44	九郎兵衛殿町	25,100	26,000	6,000	16,920
7	築地上本町	24,500	47,000	5,850	16,200	45	笹町	23,000	21,000	7,800	21,600
8	築地下本町	20,000	23,000	4,810	13,320	46	三枚橋町	42,000	56,000	9,100	25,200
9	築地中町	11,000	10,000	5,000	18,000	47	愛宕下東丁	8,500	12,000	1,950	6,120
10	築地西町	9,000	12,400	2,470	6,480	48	愛宕下西丁親交会	26,000	30,200	5,460	15,120
11	築地睦会	0	3,000	0	1,800	49	愛宕下南丁	10,000	12,000	2,600	7,200
12	榑山本新町上丁	12,000	27,000	5,200	14,400	50	愛宕下北丁	18,500	25,600	4,680	13,320
13	榑山本新町下丁	28,000	30,000	5,850	16,200	51	愛宕下中丁	16,000	16,800	3,640	10,080
14	榑山上本町	10,000	18,000	5,000	9,720	52	城南町	27,450	27,450	8,190	22,680
15	榑山本横町	6,500	16,000	3,000	8,640	53	金照寺山	12,500	10,000	10,000	12,600
16	内木町	16,500	17,500	4,550	11,880	54	榑山寺小路北部	11,700	8,700	1,800	13,320
17	榑山本町下丁	9,500	12,600	2,470	6,840	55	榑山寺小路南部	10,000	11,000	5,000	12,240
18	榑山古川新町	12,000	77,000	20,000	46,080	56	城南みなみ	10,000	24,000	5,000	10,400
19	百石橋通り	14,000	13,000	2,600	7,200	57	榑山石塚谷地	6,000	24,000	6,000	14,040
20	栢取町親睦会	11,000	22,400	3,510	9,360	58	榑山(大元町)	69,000	91,000	25,000	36,000
21	末無町	26,200	33,600	9,490	26,640	59	榑山石塚町	35,500	40,000	11,700	32,400
22	医王院前町	20,250	19,800	5,850	16,200	60	榑山石塚新町	51,000	48,000	20,000	57,600
23	榑山広小路	5,000	10,200	3,120	8,640	61	太田町本町	10,250	17,400	3,770	10,080
24	榑山虎ノ口新町	22,000	28,000	9,100	25,200	62	太田町山水会	16,000	21,000	3,900	10,800
25	南新町	85,000	85,000	24,700	61,200	63	太田町東部	6,800	15,000	3,640	10,440
26	森林管理局第一	11,500	13,200	3,300	8,280	64	太田町睦会	4,000	7,800	1,690	4,680
27	太平	9,000	10,800	2,340	6,480	65	太田町栄町	9,500	11,400	2,470	6,840
28	牛島橋通町	6,720	41,600	7,280	20,160	66	太田町南町	13,000	15,400	3,120	9,360
29	牛島橋通り南部	12,500	15,000	3,250	9,000	67	太田町新町	15,400	22,400	3,770	10,080
30	榑山共和町	6,500	7,800	1,690	4,680	68	太田町旭町	11,500	12,000	2,210	6,120
31	榑山下浜町	17,000	37,000	7,670	21,240		町内会合計	1,242,070	1,726,950	426,540	1,107,040
32	川口境西部	15,000	19,000	3,640	10,800		秋田南中学校生徒会			21,733	
33	登町南部	49,000	59,800	12,740	35,280		築山小学校児童会			13,206	
34	川口境東部	45,500	53,500	9,490	26,280		城南園			4,385	
35	若草団地	10,000	31,000	13,000	36,000		グラウンドゴルフ友の会			43,500	
36	入川橋	13,500	16,200	3,510	9,720		その他	10,000	5,000		
37	十軒町	9,000	16,800	2,340	6,480					3,250世帯	3,075世帯
38	米沢町	8,000	10,600	2,080	5,760		総計	1,252,070	1,814,774	426,540	1,107,040

＝築山社協60年の歩み＝

昭和31年7月 築山地区社会福祉協議会を設立。初代会長・小泉四郎
 59年9月 敬老会を秋田温泉ホテルで開催
 61年1月 築山社協だより第1号を発行
 平成2年10月 65歳以上の「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催
 6年4月 ふれあいのまちづくり事業モデル地域に指定される
 12月 ひとり暮らし老人・寝たきり老人世帯を激励訪問
 8年6月 築山地区社会福祉協議会設立40周年記念式典・祝賀会を千秋会館で開催
 13年9月 安心のまちづくり運動・ふれあいサロンのモデル指定を受ける
 15年8月 秋田市地域福祉計画第1回ワークショップを開催
 18年11月 築山地区社会福祉協議会設立50周年記念式典・祝賀会を第一会館で開催
 23年10月 第1回防災シンポジウムを築山小学校で開催
 26年1月 災害対策基本条例に伴う地域情報の提供についての説明会を榑山コメンセンで開催
 28年9月 築山社協だより第50号を発行



来賓、町内会長、民生児童委員、地区社協役員、福祉協力員らが参加して開かれた記念式典

式典には、秋田市社協の野口良孝会長をはじめ市内各地区社協会長、築山地区社協、民生児童委員、町内会長ら地元関係者合わせて70名が出席しました。

はじめに加藤俊悦会長が式辞を述べ、これまでの歩みや先人の労苦、今後の指針などを話しました(今号巻頭の会長あいさつをご覧ください)。

引き続き感謝状の贈呈が行われ、地区社協の前会長(第4代)で顧問・高桑博さんら合わせて14氏。永年にわ

築山地区社会福祉協議会は設立60周年を迎え、昨年10月28日、第一会館で記念式典を行い、永年地域福祉活動に尽くして来られた14氏に感謝状を贈りました。祝賀会では、社協のさらなる充実発展を誓いました。

設立60周年を盛大に祝う



感謝状を贈られた皆様(敬称略)

- (前列左から) 福井 陽子 榑山太田町
 北條 晃 榑山大元町
 西山 一郎 榑山南中町
 当社協会長
 加藤 俊悦(贈呈者)
- (後列左から) 藤原 賢一 榑山川口境
 妹尾 弘 榑山本町
 伊勢 定正 南通築地
 高橋 安成 榑山南新町
 下丁
- (中列左から) 高桑 博 南通みその町
 佐川喜代四 東通館ノ越
- (組み込み左から) 藤原 博子 榑山愛宕下
 佐々木正次 榑山城南町

14氏に感謝状が贈られる

60周年記念式典で感謝状を贈られた

方々は、左記の14氏です。この中で、藤原博子さん、佐々木正次さんは、都合のため欠席となりました。

を経て、式典を終えました。式典に続き、会場を隣室に移し祝賀会が行われました。細谷敏夫・前市社協会長のあいさつの後、田口悟・市社協常務理事の乾杯の発声で開宴。各テーブルでは、和気あいあいの中で歓談が繰り広げられ、話が弾みました。これまでの活動を振り返りつつも、今後への思いも語られています。中締めは、藤原賢一・築山社協理事が万歳三唱を行い、盛会裏にお開きとなりました。

たる社協事業への御尽力、地域福祉活動への貢献等をたたえ、加藤会長からひとり一人に感謝状が手渡されました。このあと来賓の祝辞に移り、野口良孝・秋田市社協会長は「設立以来、数々の困難を乗り越えて取り組んでこられた活動は、市内の他の地区社協の模範となっております。誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを一緒に築き上げていきたいと願っています」と述べました。また高桑顧問からも祝辞があり、25名にのぼる来賓の方々の紹介



祝辞を述べる来賓の方々(左から)野口良孝秋田市社協会長、高桑博築山地区社協顧問、丸野内胡桃県議会議員、川口雅丈市議会議員



来賓として慶事においでくださった方々。市社協をはじめ市内の地区会長ら25人に上った。



地元築山地区から参加した皆様



田口悟・市社協常務理事の乾杯の発声で開宴



和気あいあいと歓談する参加者

盛会!! 式典と祝賀会



各テーブルでは話が弾んだ



藤原賢一・築山地区社協理事の音頭で万歳三唱し、盛会裏に祝賀会はお開きとなった

広げよう「寄付文化」を 28年度歳末たすけあい募金

築山社協副会長 鈴木夏代

地域の皆様には、平成28年度歳末助け合い募金運動において心温まる善意を賜り、お礼を申し上げます。

この運動は、共同募金の一環として新たな年を迎える時期(歳末)に、支援が必要な人々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民同士の参加や理解を得て、様々な福祉活動を重点的に展開する最も身近な「相互扶助」の募金活動です。

築山地区共同募金委員会では、昨年末に地域の皆様の善意を、社会福祉協議会の定める配分計画に基づいて、次の内容で激励訪問を実施しました。

(1)地域で生活福祉課題を抱えて支援を必要とする方へ「健康に留意して新年をお迎え下さい」とお声かけの上、



介護事業所・「榎山」を訪問時(左が管理者の桜田さん)

援助・友愛訪問。
(2)75歳以上の一人暮らしの高齢者・80歳以上の高齢夫婦のみの世帯にお茶を持参し、「風邪予防にお茶つこを飲んで元気に過ごして下さい」と見守り訪問。

(3)秋田婦人ホーム、川口老人デイサービスセンター、グループホーム・「かんとろ」、居宅介護事業所・「榎山」の各施設に季節の果物を贈呈し、「皆様で楽しく一緒に過ごして下さい」と励ましの激励訪問を行いました。

《みんなが社会の一員として包み支え合う仕組みづくり》をテーマに70回目を迎えた運動ですが、地域社会は少子高齢化により家族形態も様変わりし、独居世帯が多数を占め、地域の繋がりがも脆弱化しています。また、生活課題も多様性と深刻さを増しています。

共同募金会では、賛同企業と新たな「社会課題解決プロジェクト」を発足し、寄付システム付きの商品や企画等も展開しています。このプロジェクトでは、子どもの貧困対策や住民の孤立予防などに先駆的に取り組んでいる地域福祉団体を中心に助成・支援しています。寄付文化が生み出す力によってコミュニティの結束力が強まり、共に安心・安全に暮らすことができる地域社会の形成が、今一層求められています。

日赤「社員」から「会員」へ 29年度からの活動資金募集について

日本赤十字築山分区長 妹尾 弘

毎年皆様から日赤活動への資金をお寄せいただき築山分区の責任者として心から感謝申し上げます。
新年度からの募集について秋田県支部から指示がありましたので、皆様へ直接関係のあることについて簡略にお知らせ致します。

①皆様をこれから「会員」と呼びます。「社員」という堅苦しい立場ではなく、みんなで赤十字活動を支える「会費」を出し合う「会員」になつていただくという趣旨です。これまで通り500円以上をお願い致します。

これに伴って「社資」という名称も「活動資金」に改められます。なお「日赤社員」としてこれまでと同じように日赤の活動に関わって行きたいと考えられている方は、年額2千円以上の拠出をお願いしたいという事です。詳しいことは世話役を致している私共にお尋ねください。

②毎年千円以上を納入していただき、1万円に達した方に表札を贈る制度がありますが、秋田県支部として、これまでと同様にお贈りします。

③次が一番大事な変わった点です。一家の世帯主が亡くなるなどして、代表になる方が代わられたとき、従前はこれまでの蓄積がリセットされてしまいましたが、今回の制度改正を機会に、秋田県支部独自の取り組みですが「一定条件のもとに引き継ぎを可とする」ことが決まりました。

その条件というのは「亡くなられた会員と同居する親族があり、引き継ぎを希望する方」です。この蓄積は会員の皆さまの表彰などにつながるものですので、お世話をしてきた者としても長年の要望が聞き届けられ、ほつとしております。

以上が皆様に直接関わりのある改訂部分ですが、日本赤十字社は、日本全体として活動資金の募集に苦勞しており、少しでも制度の専門用語を減らし、皆様に理解していただき、活動資金への一層のご協力をお願いしたいというのが主旨だと考えられます。

毎年、各町内会長様を始め、いろいろな方々にご苦勞をおかけしておりますが、取りまとめ役として、新年度も改めてご協力をお願いいたします。

遊戯や竿燈、踊り、演奏などを楽しむ

28年度地区敬老会

28年度築山地区敬老会は、昨年9月20日、午前11時から橘山コミュニティセンターで開催しました。地区の75歳以上の高齢者にご案内したところ、男性66名、女性65名の合わせて131名が参加し、歌や踊りなどを楽しみました。

会では、初めに地区内の物故者への黙とうを捧げた後、当社協・加藤俊悦会長が「百歳を超えられた7名の皆様をはじめ、本日の敬老の日を迎えられた方々に心からお祝いを申し上げます。8月の台風10号で岩手県岩泉町の老人ホームで尊い命が奪われました。築山地区では平成14年に太平洋川の増水により避難勧告が出されたことを思い出しています。大災害はいつか必ずやってくると思いつきながら、今後もご健康で過ごされますことを祈念いたします」と挨拶し、「各町内会や近隣・親戚の方々とともに防災・減災に対する備えにも一層努めていただきたい」と呼び掛けました。

引き続き、来賓の秋田南中学校・茜谷英也校長、築山小学校・林



引続き、来賓の秋田南中学校・茜谷英也校長、築山小学校・林

崎勝校長から祝辞をいただき、祝電も披露されました。

次いで敬老者を代表して東通館ノ越の佐川喜代四さん(83)が謝辞を述べ「今日は私たちのためにこのような会を開いてくださり、ありがとうございます。同感謝しています。こうして元気に敬老の日を祝うことができ、これまで頑張ってきた甲斐があったなあとつくづく嬉しく思います。このひと時、共に楽しく過ごして、皆さん、元気な姿で来年もこの場でまたお会いしましょう」と元気いっぱいに語りました。

乾杯は、橘山交番の金昌千世所長が行い、元気あふれる掛け声とともに開宴となりました。会場では社協の役員や福祉協力員、民生児童委員らが手伝いに当たりました。

座が和んできたところで、ステージ等で演芸が披露されました。橘山保育園児の歌とお遊戯、築山小学校1年生の歌とお遊戯、築山竿燈まつり部の竿燈演技、フモレス・オカリナのカカリナ演奏、瑛会の新日本舞踊等が次々と繰り広げられました。中でもオカリナ演奏は初登場(写真)、

オカリナは音色に合わせて唱歌「ふるさと」を、お年寄りははじめ会場の皆さんと一緒に歌い、懐かしさに包まれました。

まちの動き

「写真で見る」活動



第33回 橘山コミセン祭り 芸能発表
コミセン祭りで活動成果を披露する民謡サークル。抽選会もあり盛り上がった(昨年10月15、16日)

築山地区に住んでいる本年度75歳以上の敬老会該当者は、男性525名、女性894名、合計1419名を数えました。百歳以上7名、99歳3名、98歳7名、97歳3名、96歳13名と続きます。当社協では該当者に対し、記念の品として商品券を贈らせていただきました。

75歳以上は1419名

運動不足解消にと橘山コミセンで、軽スポーツ大会を開催。笑顔があふれ体も温まった(昨年11月12日)



みどり保育園児と地区高齢者が交流。こま回しや、けん玉、おはじきなど楽しんだ(1月19日(木)・橘山コミセン)

民生委員・児童委員の一斉改選

築山民児協、23人が決まる

3年に一度の民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われ、築山地区民生児童委員協議会(築山地区民児協)佐々木洋吉会長)では、新任2人を含む23人の委員が決まりました。任期は平成31年11月30日までです。昨年12月7日の築山民児協の例会の席上、佐々木会長から各委員に厚生労働大臣、秋田市長からの委託状が手渡されました。地区民児協の役員改選も行われ、佐々木洋吉会長、川井精一、鈴木夏代副会長が再任されました。会長、副

会長を除く委員は樋渡久孝、佐々木正次、妹尾弘、小松勇、澤井恵理子、齋藤毅、佐藤美智子、佐藤祐子、佐藤義孝、佐藤秀一、瀧澤文雄、京屋均、根田文子、石川次男、明石信二、下間幹夫以上再任、山崎美恵子、工藤裕紀以上新任▽主任児童委員Ⅱ岡田弘子、安藤美智子Ⅱ以上再任。各委員の連絡先、担当区域・町内会は、一覧表となつて「広報 築山民児協第14号」に連載されていますのでご覧ください。

各種共同募金のご協力に感謝します

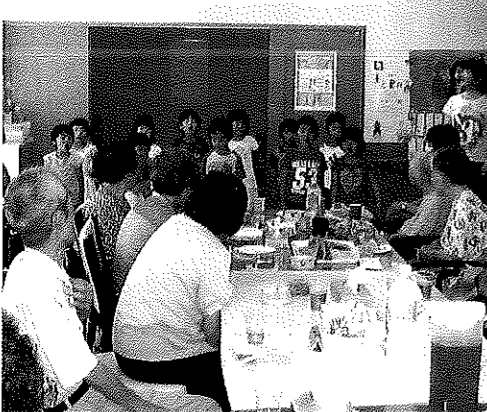
平成28年度の「赤い羽根共同募金」と「地域歳末たすけあい運動」に地区の皆様からたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございます。(7面の各種募金運動実績表を参照)今年度も、各町内会から心温まる善意をいただき深く感謝申し上げます。赤い羽根共同募金運動の推進については、毎年グラウンドゴルフ友の会の方々や、城南園の皆さん、築山小、秋田南中の児童生徒と教職員の皆様から、絶大なご協力をいただきました。特に、地域の子どもたちによる共同

あります。

また、併設施設として、建物の1階には、橘山小規模多機能型居宅介護事業所があります。こちらは、25人の登録制で、利用料金は、1ヵ月単位の月額です。地域密着型介護サービスで、

ならやま= サービス付き 高齢者向け住宅
橘山= 小規模多機能型 居宅介護事業所
桜田 桂子 (管理者 兼 介護支援専門員) ☎ 884-7880

サービス付き高齢者向け住宅「ならやま」は、橘山地区の佐竹町に、平成23年7月に開業し、満5年半となりま



城南園・園児と交流する高齢者たち

秋田市内に住所があり、介護認定を受けている方が対象です。住み慣れた地域で『通い』『訪問』『泊まり(9部屋)』を組み合わせたサービスを受けることができます。自宅生活されている方や、サービス付高齢者向け住宅に入居されている方も登録され、その方の状況に合わせたサービスを提供しております。特に、『通い』では、基本的には9時から17時30分までの間ですが、利用者の方都合に合わせて時間で、利用することができます。通院などの送迎が可能な点も、特徴の一つです。しかし、まだ地域の方々に認知されるまでには至っていないのが現状です。これからも、地域の方々の一助になれるように努力して参りたいと思っております。